

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

		令和5年12月31日実施	子どもサポート広場ころる			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・個別対応できるよう個室を4部屋用意している。 ・運動ができる部屋や伸び伸びと過ごせる広場などがある。 ・個室等に鍵を設けており、安全面等にも配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・定員に応じて、適切な人数のスタッフを配置している。 ・必要に応じて、人数を追加配置している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		・どの部屋を使用するかが分かるように符合にスタッフと利用児童の顔写真を張り出している。 ・来所してからの流れ(手洗い、検温)を視覚的に示している。また、その日のスケジュールも児童に応じて提示方法を変更しながら、活動の最初に確認している。 ・トイレに段差はあるが、事業所内は基本的にフラットな床になっている。ただ、安全のためにクッションマットを引いているため段差が生じている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○			・運営会議を月に1度実施し、業務の見直しを行っている。 ・業務に関して改善点が見られた場合にはその都度、振り返りを行い、全員で確認している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・自己評価を令和5年12月に実施し、広く保護者の方の意見を伺った。 ・自社アンケート(利用満足度調査)を令和5年8月に実施し、改善を行った。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPや事業所内掲示にて公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月に1回研修を行っている。 ・月に1回程度希望者のみ外部研修を受講している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・インフォーマルなアセスメントを利用開始前に必ず実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・児童の特性を知るためにフォーマルなアセスメントを行うこともある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・集団活動、個別活動共にスタッフ間で意見交換を行いながら活動設定を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節に応じて、製作・料理活動を設定している。 ・多様な活動を用意し、児童の状況に応じて変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・平日か休暇かによって児童の情緒、体面に差があるため、児童の状況を把握したのち課題を設定しているが、特に区別していない。 ・休日にイベント(外出活動)を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童や保護者の方のニーズに応じて個別課題や集団活動を設定し、それに基づいて個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に、担当児童の確認を行っている。 ・支援内容等も共有又は相談している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援実施後は、支援の内容等を反省したり、評価したりしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録は適切に行い、支援を振り返るために活用している。 ・すべての活動において詳細な記録を作成している。
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・モニタリングは半年に1度以上行い、支援計画の改善を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・「自立と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会」「余暇の提供」を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。

(続き)	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達管理責任者、管理者、児童の担当職員から状況に応じて選任している。 ・今年度は6件中6件参加した。
	21	学校との情報交換(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎を行う児童に関しては事前に連絡し、下校時間を確認した。 ・利用児童について学校での様子を担任の先生からお聞きしたり、直接学校で意見交換を行ったりした(5件)
関係機関や保護者との連携	22	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在医療的ケアが必要なお子様を支援していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・児童発達支援事業所と情報交換を行い、何をしていたか等を把握するよう努めた。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等についての情報を提供する等しているか			○	・該当するお子様がまだいっしょにやらないため行っていないが、今後対応していく。 ・就労支援事業所等の説明会には参加し、情報収集を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・現在助言等は頂いていないが、必要に応じて研修への参加を行っていく予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・現在、交流できていない。必要性や要望に応じて検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・佐伯区支援者の会に参加した。引き続き、地域の協議会等には積極的に参加していく予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・療育後、振り返りの時間でどんなことをどんな様子だったかを話している。保護者の方からもお子様の様子を伺い、共通理解できるよう努めている。 ・振り返りの時間以外でも可能な限り最近の話を聞き、スタッフ間で情報を共有している。 ・個別支援計画作成時、モニタリング時に丁寧に支援方針の確認を行うようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・ペアレントトレーニングは未実施。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・重要事項説明書にて利用料金を丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・お悩み等には真摯に向き合い、スタッフ間で協議を行いながら対応している。また、事業所内相談支援を6回程度実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在開催できていない。 ・ご要望も踏まえ令和6年度は必ず開催する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・アンケートを行う等保護者の方のお気持ちを広く把握できるように努めている。 ・現在苦情と判断されるケースはないが、苦情の窓口等は重要事項説明書でご案内したり、事業所内掲示にてお知らせしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・12月から「こころ新聞」を発行している。 ・HPやInstagram等でも活動の様子を報告している。

保護者への説明責任等（続き）	35	個人情報に十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内でのプライバシー保護を徹底している（USBの禁止、セキュリティソフトの導入、パソコン監視）。</li> <li>・個人情報はすべて施錠付きの棚に収納している。</li> <li>・インスタやHPでの写真掲載時にはすべてお子様の顔にモザイク処理を行い、情報漏洩防止に努めている。</li> </ul>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に提示する、選択肢から意見を聞く等なるべくお子様のお気持ちを確認できるよう努めている。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在行っていない。</li> <li>・コイン通り商店街に加盟し、地域のイベント等には参加するようにしている。</li> </ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルを作成し、すべて事業所内ファイルにて掲示している。</li> <li>・マニュアルは職員間で共有し、詳細な対応方法を確認している。</li> <li>・今後HP等にも掲載する予定。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様と一緒に計4回の避難訓練（机上訓練3回、避難訓練1回）を行った。また、スタッフで避難経路の確認等もしている。</li> <li>・BCP研修も実施した。</li> <li>・今後、お子様によりわかりやすく伝えるためにどうすべきか練習を重ねていく。</li> </ul>
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の適正化、虐待防止のための研修を1回ずつ実施した。</li> <li>・日頃から対応を職員間で評価し、適切な対応が取れているか確認している。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在身体拘束を行うと決定しているケースはない。委員会にて身体拘束と思われる対応については是正を図っている。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーについては個人情報シートにて確認を行っているが、医師の指示書等の確認はしていない。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがあった場合には、報告書を記載し、スタッフ間で共有するようにしている。再発防止のための対策を話し合い、実践している。</li> </ul>